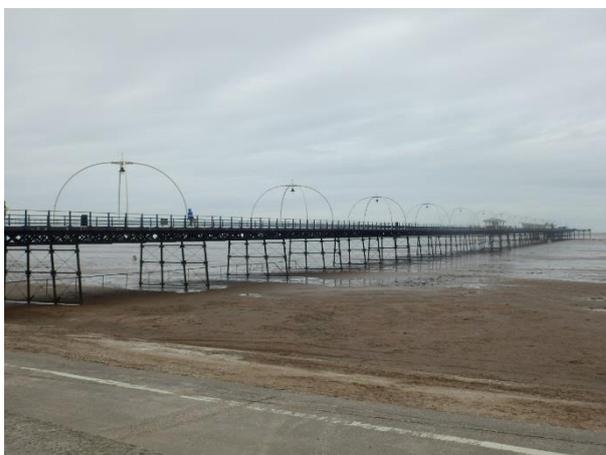


○サウスポート桟橋 (Southport Pier)



供用開始年	1860 年
所有者	Sefton Council
桟橋位置	Southport, Merseyside
桟橋延長	1108m(3633ft)



本桟橋は、サウスエンド桟橋に次いで英国で 2 番目に長い桟橋である。リバプールから外輪蒸気船が定期就航した。当初は入場料を意図的に高く設定し、労働者階級の入場を排除した。

1905 年に長大な桟橋の先端まで電気鉄道を通した。パビリオンも建設され映画やコンサート、演劇を上演。砂の堆積が激しく満潮時でも船が着けなくなり、桟橋を 1335m まで延伸、それでも機能せず結局当初の延長まで戻した。やがて船の就航は途絶えた。

1936 年破産した所有会社から地元自治体が桟橋を購入。戦後つかの間の賑わいの後、他の多くの桟橋と



同様に入場者が激減した。1990 年に実施した調査により桟橋の維持に多額の資金が要ることが判明、自治体は撤去を検討したが、わずか 1 票差で否決された。その後、桟橋保存会を中心に熱心な資金調達を展開し、改修プロジェクトを実施して 2003 年に再開した。